

患者さんパンフレット

四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態で治療が受けられるようお手伝いいたします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



ラムシルマブ+ドセタキセル+ G-CSF 製剤療法を受けられる

_____さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []



Shikoku
Cancer Center

2018年3月16日 作成
2024年3月13日 改定

ラムシルマブ+ドセタキセル療法を受けられる方へ

ラムシルマブ+ドセタキセル療法とは

「分子標的治療薬と抗がん剤の2種類の薬を使って、病巣や目に見えない全身のがん細胞を攻撃しておさえる方法」です

3週間に1回のペースで点滴を行います

初回（1クール目）は入院で点滴を行い、2クール目からは外来で行う予定です

点滴の時間は、初回は2時間20分程度の予定です

抗がん剤の投与時期や量は、患者さんの体調や検査結果によって変更されることもあります

※治療前には血液検査を必ず行います



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



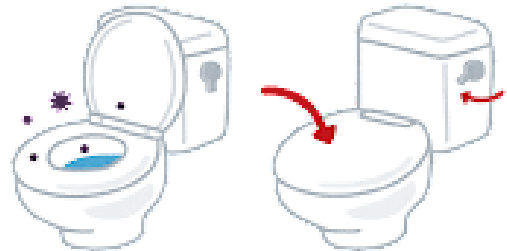
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう



- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標もあげています

入院はおよそ2週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるようにサポートさせていただきます



入院日 月 日



今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）

12:00

昼食

- ・検温、血圧測定、身体測定
- ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・禁煙の確認
- ・歯科受診
- ・血液検査、尿検査
- ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります
- ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください
- ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

18:00

夕食

<お薬>

- ・他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・特に制限はありません

21:30

消灯

- ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

MEMO

気になることや症状など、書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



今日の目標

- ・抗がん剤治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・日常生活の注意点を知ることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

- ・薬剤師より薬の説明があります

7:30

朝食



10:00

検温
血圧測定

- ・看護師より治療の流れ（治療スケジュール）について説明します



12:00

昼食

14:00

検温
血圧測定

明日にそなえ
シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

21:30

消灯

- ・眠れないときは看護師へお知らせください

退院日のページの後に、体調の変化や副作用症状について記載できるページがありますので活用してください

医療スタッフの目標

- ・抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



今日の目標

- ・予定どおり治療を受けることができる
- ・転倒しない

<時間>	<予定>	
6:00	起床 検温 血圧測定	・開始時刻については、看護師からお知らせします () 時から、点滴を始めます
7:30	朝食	<点滴スケジュール> ①吐き気止め 15分 ②ラムシルマブ（抗がん剤） 初回：60分 2回目以降：30分 ③生理食塩水 5分 ④ドセタキセル（抗がん剤） 60分 ⑤生理食塩水 5分
10:00	検温 血圧測定	<治療時の注意点> ・事前に、トイレは済ませておきましょう
12:00	昼食	・点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえたりしないようにしましょう 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください ・点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、看護師が身回りのお手伝いをします ・抗がん剤開始30分前から投与終了まで、アレルギー症状の早期発見のために心電図モニターを胸に装着します ・抗がん剤開始時より、看護師がしばらく付き添います 息が苦しい、胸がドキドキする、体が熱いなど変わったことがあればすぐに看護師にお知らせください
18:00	夕食	
19:00	検温 血圧測定	点滴中は、トイレなどの歩行時に注意しましょう 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります 点滴台は支えにしないようにしましょう
21:30	消灯	 点滴開始後は フタをして水を 2回流しましょう

医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



今日の目標

- 副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床	副作用の対処方法や日常の過ごし方について説明します 不明な点があればお知らせください
7:30	朝食	吐き気や口内炎、味覚障害などで食事が食べにくいときは、 食事内容を変更できます
10:00	検温 血圧測定	栄養士と相談もできますので、看護師にお知らせください
12:00	昼食	抗がん剤投与終了後、好中球減少症を予防するための 注射をすることがあります 副作用と対策について説明します 治療2日目：脱毛について 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照 息が苦しくなった、咳が増えた、37.5℃以上の熱が出た ときなどは、早めに看護師にお知らせください
18:00	夕食	 フタをして 水を2回流しましょう
21:30	消灯	針の入っていたところが赤くなった、腫れた、痛くなった ときは、すぐにお知らせください



2コース目以降は、好中球減少症を予防するための注射を
かかりつけ医や家の近くの病院で行うこともできます
「私のカルテ」をお渡ししますので、退院後の生活や
受診する病院など、少しずつ決めていきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用が最小限になるよう支援します
- 不安なく療養できるよう支援します



今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

- ・副作用の対処方法や日常の過ごし方について説明します
不明な点があればお知らせください

7:30

朝食

10:00

検温
血圧測定

- ・吐き気や口内炎、味覚障害などで
食事が食べにくいときは、
食事内容を変更できます

栄養士と相談もできますので
看護師にお知らせください



12:00

昼食

息が苦しくなった、咳が増えた、
37.5℃以上の熱が出たときなどは
早めに看護師にお知らせください



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用が最小限になるよう支援します
- ・不安なく療養できるよう支援します

治療8日目以降 月 日～



今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	・日常生活の注意点について説明します
7:30	朝食	・副作用の対処方法や日常の過ごし方など不明な点があればお知らせください
10:00	検温 血圧測定	★治療8日目、治療10日目頃に、血液検査とレントゲン検査があります
12:00	昼食	・手洗い、うがいを行いマスクを着用しましょう
		
18:00	夕食	息が苦しくなった、咳が増えた、 37.5℃以上の熱が出たときなどは 早めに看護師にお知らせください
		
21:30	消灯	

医療スタッフの目標

- ・副作用が最小限になるよう支援します
- ・不安なく療養できるよう支援します



今日の目標

- ・ 日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

血液検査、レントゲン検査結果で
医師から退院許可が出ます

7:30

朝食

血液検査、レントゲン検査



10:00

検温
血圧測定

- ・ 退院後の日常生活の注意点について説明します

12:00

昼食

- ・ 次回から外来治療になります
通院治療室の見学を午後からします
時間は決定次第、看護師からお知らせします

() 時から見学に行きます



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・ 退院の準備がすすめられるよう支援します

退院日 月 日



今日の目標

- ・日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院時に忘れ物がないようご確認ください

連携先病院への診療情報提供書をお渡しします
受診の際に担当医へお渡しください

連携先病院：

受診予定日： 月 日 () 時～

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

- *通院治療室へ行かれるときは、このパンフレットをお持ちください
- *外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

医療スタッフの目標

- ・安心して退院できるよう支援します

「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



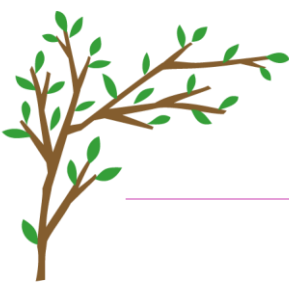
アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

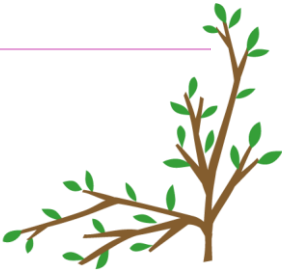
()クール目

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
1 日目	／		8 日目	／	
2 日目	／		9 日目	／	
3 日目	／		10 日目	／	
4 日目	／		11 日目	／	
5 日目	／		12 日目	／	
6 日目	／		13 日目	／	
7 日目	／		14 日目	／	

	月日	
15 日 目	／	
16 日 目	／	
17 日 目	／	
18 日 目	／	
19 日 目	／	
20 日 目	／	
21 日 目	／	





退院後の日常生活について

●呼吸・発熱

息の苦しさや咳がひどくならないか、注意してください

熱がでた場合は、手持ちの抗生剤や退院時処方された解熱剤を医師の指示どおりに服用してください

息の苦しさが続くとき、ひどい咳が続くとき、薬を服用しても熱が下がらないときは、がん相談支援センターにご相談ください

●血圧測定

退院後、血圧の自己測定を行いましょう

起床時など、毎日同じタイミングで測定すると良いでしょう

●鼻出血、口腔内出血

出血しやすくなりますので、鼻を強くかみすぎたり、歯を強くみがきすぎたりしないようにしてください

なるべく柔らかい歯ブラシを選びましょう

●食事

吐き気の強いときは食べやすい物を食べるようにしましょう

食事が上手くすすまないときは、退院後でも栄養相談を受けることもできます

口内炎を予防するために、食後は口腔内を清潔に保ちましょう



●排泄

なるべく便秘をしないように気をつけましょう

軽い運動や水分をとるようにしましょう

下痢のときは白湯などの水分を十分補給してください

水分を控えることは逆効果になり、脱水の原因にもなります

便秘がちの方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）を処方することもできます

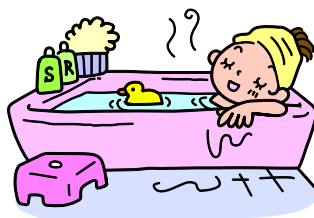
●活動

副作用症状がおさまっていれば、活動の内容や範囲に制限はありません
無理をしない程度で体を動かしましょう
自転車やバイク・自動車の運転もできます

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

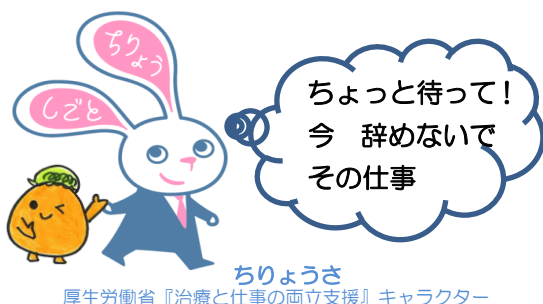
●入浴

特に制限はありません
今までどおりでかまいません
体は清潔に保ちましょう



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が
必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
ほかの病院で処方されている薬がある場合は、退院までに
医師スタッフにお知らせください
今後の服用について相談させていただきます



わからないこと、
心配なことがあれば
遠慮なくお尋ねください



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付

A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃以上熱が続いて、体がしんどいとき
または、38.0℃以上の発熱があるとき
- 息苦しさが悪化したとき
- 食事や水分がとれなくなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



ラムシルマブ+ドセタキセル+G-CSF 製剤療法を受けられる方へ